

＜金標準、関税リスクや地政学的なリスクの後退・・・＞



(出所：オアシス)

米国税関・国境警備局 (CBP) のスイスからの輸入の金現物に対する関税の対象との見解は、トランプ大統領が「金に関税を課さない」と発言した事から落ち着きを見せている。また消費者物価指数 (CPI) の低下で一時 9 月の FOMC における利下げ確率が 90% を超える動きを示すも、生産者物価指数 (PPI) の上昇で利下げ確率は後退している。またベッセント財務長官が FF レート誘導目標に対して 1.5%~1.75% の利下げ発言を行うも、FRB への指図ではないとの否定でも市場の思惑の利下げ幅が 0.5% から 0.25% へ低下している。

特にアラスカで行われたトランプ大統領とプーチン大統領の協議では「非常に生産的だった」と自画自賛するも内容には言及する事もなく、ロシア産原油の輸入国に対する 2 次関税については「それについては考える必要はない」と言及しており、中国やインドに対する猶予を与えている。そのため地政学的なリスクが後退しており、リスク緩和に伴い金の魅力が後退する事から金標準で 15850 円を下回る可能性は高まると思える。

＜テクニカル＞

金標準先物の日足の MACD では、MACD が下げながら、シグナルは下げている。RCI は短期が下げながら、長期も下げている。特に日足が指数平滑移動平均線を下回るなどオシレーターの基調は弱気を示唆しており、15800 円割れに向けた値動きに注意が必要に思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取 1,955,000 円(2025 年 8 月 18 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 81,840 円(2025 年 8 月 18 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>